

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

PCT/JP03/07292

09.06.03

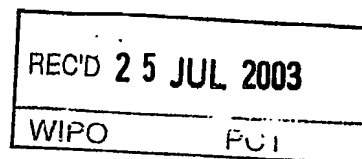
Handwritten mark

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年 6月 7日

出願番号
Application Number: 特願2002-167674
[ST. 10/C]: [JP2002-167674]



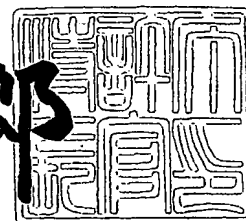
出願人
Applicant(s): 上垣 健男

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 7月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願

【整理番号】 P-B0006

【提出日】 平成14年 6月 7日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 車輛提供支援方法

【請求項の数】 6

【発明者】

 【住所又は居所】 宮城県仙台市宮城野区栄1丁目8番3号

 【氏名】 上垣 健男

【特許出願人】

 【識別番号】 500529562

 【氏名又は名称】 上垣 健男

【代理人】

 【識別番号】 100089244

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 遠山 勉

【選任した代理人】

 【識別番号】 100090516

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 松倉 秀実

 【連絡先】 03-3669-6571

【選任した代理人】

 【識別番号】 100098268

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 永田 豊

【選任した代理人】

【識別番号】 100100549

【弁理士】

【氏名又は名称】 川口 嘉之

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012092

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 車輛提供支援方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車輛に加修を施し、当該車輛を顧客に提供するための支援をコンピュータが行う車輛提供支援方法であって、

前記コンピュータは、

複数の加修項目を提示するステップと、

車輛に施すべき加修項目の選択を受け付けるステップと、

前記で受け付けた加修項目に基づき、その加修に要する作業項目を出力するステップと、

前記作業項目の出力に先立ち、前記加修の有無を決定すべき判断基準となる情報を提示するステップと、

前記判断基準となる情報の提示を受けてなされた判断を受け付けるステップと

、
前記で受け付けられた判断に基づき、前記加修に要する作業項目の出力の有無を決定するステップと、

を実行することを特徴とする車輛提供支援方法。

【請求項 2】

前記判断基準となる情報を提示するステップでは、加修に要する作業時間、及びその作業に要する費用の何れかを含む情報を提示することを特徴とする請求項 1 に記載の車輛提供支援方法。

【請求項 3】

前記加修項目の選択を受け付けるステップでは、予め複数の加修項目を客層毎にグループ分けしておき、加修項目の選択を受け付けるときには、そのグループを単位として加修項目の選択を受け付けることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の車輛提供支援方法。

【請求項 4】

前記加修を受けて当該加修済み車輛が顧客に提供された場合、前記コンピュー

タは、当該車輛の提供日を読み込むステップと、その車輛提供日から所定期間経過後の期日を保障期間満了日として算出するステップと、前記で算出した保障期間満了日を表示するステップと、を実行することを特徴とする請求項1から3の何れかに記載の車輛提供支援方法。

【請求項5】

前記コンピュータは、過去に受け付けられた加修項目と、その加修項目を選択した顧客の情報と、を関連づけて蓄積可能なデータベースに接続可能であり、

新規顧客に対して前記加修項目を提示するステップを処理する際には、その新規顧客の情報を読み込むステップと、その新規顧客の情報に近似した顧客の情報を抽出するステップと、抽出された顧客の情報に関連づけられた加修項目を、その新規顧客に提示するステップと、を実行することを特徴とする請求項1から4の何れかに記載の車輛提供支援方法。

【請求項6】

前記加修に伴い車輛に部品を取り付ける際、前記コンピュータは、その部品をリース品として装着するか否かの判断を受け付けるステップを処理し、このステップにてリース品としての装着が受け付けられたときには、その部品のリースに要する費用を算出して提示するステップを実行することを特徴とする請求項1から5の何れかに記載の車輛提供支援方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、顧客に対する車輛の提供支援技術に関し、より詳細には、顧客好みの加修を車輛に施し、当該車輛を顧客に提供するための車輛提供支援方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

車輛の提供方法として、従来、中古車の販売システムがある。

この中古車販売システムは、新車等への買い換え等によって不要になった車輛を買い取り、その買い取った車輛を店頭に並べて中古車として販売するシステム

である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、本発明者らの研究によれば、上記中古車販売システムに絡み種々の問題点が見出された。

まず、中古車となるべき車輛の供給量は、現在、飽和状態にあり、中古車市場では、市場価値の高い車輛（程度の良い車輛）の確保が優先されている。したがって、過走行車輛及び低年式車輛といった市場価値の低い車輛は、中古車として店頭に並ぶことなく廃棄処分される傾向にあり、環境への配慮を考えた場合、必ずしも好ましい状況とは言えなかった。

【0004】

また、近年では、中古車市場の拡充に伴い、車輛の買い換えが容易になったため、何ら支障のない車輛であっても中古車市場に流れてしまう。したがって、過剰供給の影響を受けて本来の市場価値を失った車は廃棄処分に廻され、一方で、市場価値の高い車輛の価格のみが急騰するといった現象が発生している。

このため、上述した環境上の問題、並びに中古車市場の価格安定を考えた場合には、従来の中古車販売システムに代わる新たな車輛の提供方法が必要になる。

【0005】

本発明は、上記した背景を考慮してなされたもので、環境の改善、及び中古車市場の安定を図れる車輛の提供支援方法を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記した課題を解決するため、本発明では、以下の構成とした。

すなわち、本発明は車輛に加修を施し、当該車輛を顧客に提供するための支援をコンピュータが行う車輛提供支援方法であって、

前記コンピュータは、

複数の加修項目を提示するステップと、

車輛に施すべき加修項目の選択を受け付けるステップと、

前記で受け付けた加修項目に基づき、その加修に要する作業項目を出力するス

テップと、

前記作業項目の出力に先立ち、前記加修の有無を決定すべき判断基準となる情報を提示するステップと、

前記判断基準となる情報の提示を受けてなされた判断を受け付けるステップと

、
前記で受け付けられた判断に基づき、前記加修に要する作業項目の出力の有無を決定するステップと、

を実行することを特徴とする。

【0007】

このように構成された本発明の車輛提供支援方法では、顧客に対して複数の加修項目を提示し、それら複数の加修項目の中から選択された加修項目を受け付ける。また、当該加修の有無を決定すべき判断基準となる情報を顧客に提示し、その判断基準となる情報の提示を受けてなされた判断を受け付ける。そして、その判断に基づき、加修に要する作業項目の出力の有無を決定している。

【0008】

つまり、本車輛提供支援方法では、加修項目の選択を受け付け、また、その加修作業の実施の有無を判断する上で有益な情報を顧客に提示し、加修作業の実施が要求されたときには、加修作業の指示を出す。したがって、車輛提供時には、顧客によって選択された加修項目がその車輛に施されるため、顧客のニーズに叶った車輛の提供が可能になる。よって、加修対象車輛が中古車であれば、車輛そのものの市場価値にとらわれることなく車輛の市場価値を高めることができ、また、加修対象車輛が顧客保有の車輛であれば、加修によって新たな付加価値がつくため車輛保有期間の延長を図れ、結果として、中古車の過剰供給を抑制できる。

【0009】

なお、本発明で「加修」とは、車輛に付加価値を与える行為全般に相当し、その一例を上げれば、車輛に対する部品の装着、指定部品との交換、不具合箇所の改善、各種コーティング作業、内装のメンテナンス、車輛に対するサービス項目の設定作業、部品の換装作業、などを例示できる。

【0010】

また、前記判断基準となる情報を提示するステップでは、加修に要する作業時間、及びその作業に要する費用の何れかを含む情報を提示するのが望ましい。

この構成では、加修の有無を決定する上で有益な情報として、加修に要する時間、及び加修に要する費用等を、顧客に対して表示する。

【0011】

また、前記加修項目の選択を受け付けるステップでは、予め複数の加修項目を客層毎にグループ分けしておき、加修項目の選択を受け付けるときには、そのグループを単位として加修項目の選択を受け付ける構成としてもよい。

【0012】

この構成では、客層毎に加修項目がグループ分け（分類）されるため、加修に係る知識に乏しい顧客であっても、グループの選択によって統一感のある加修項目の選択が可能になる。なお、上記で「客層」とは、年齢、性別、生活水準といった一定の判断基準から客観的に判断されるものである。

【0013】

また、前記加修を受けて当該加修済み車輛が顧客に提供された場合、前記コンピュータは、当該車輛の提供日を読み込むステップと、その車輛提供日から所定期間経過後の期日を保障期間満了日として算出するステップと、前記で算出した保障期間満了日を表示するステップと、を実行する構成としてもよい。

【0014】

この構成では、保障期間満了日を顧客に対して表示できるため、顧客に安心感を与えることができる。なお、上記で「所定期間」とは、加修項目数を問わず一律に算出される保障期間の他、加修項目毎に決定された加修項目毎の保障期間等で、設定可能である。

【0015】

また、前記コンピュータは、過去に受け付けられた加修項目と、その加修項目を選択した顧客の情報と、を関連づけて蓄積可能なデータベースに接続可能であり、

新規顧客に対して前記加修項目を提示するステップを処理する際には、その新

規顧客の情報を読み込むステップと、その新規顧客の情報に近似した顧客の情報を抽出するステップと、抽出された顧客の情報に関連づけられた加修項目を、その新規顧客に提示するステップと、を実行する構成としてもよい。

【0016】

この構成では、過去の選択を、その選択を行った顧客の情報に関連づけてデータベースに蓄積しておき、新規顧客に加修項目を提示する際には、その新規顧客の情報とデータベースの蓄積情報とを照らし合わせ、新規顧客の要望に近いと推定される加修項目を抽出する。そして、この抽出した加修項目を新規顧客に提示する。よって、新規顧客の要望に近い形で加修項目の提示が可能になる。

【0017】

また、前記加修に伴い車輻に部品を取り付ける際、前記コンピュータは、その部品をリース品として装着するか否かの判断を受け付けるステップを処理し、このステップにてリース品としての装着が受け付けられたときには、その部品のリースに要する費用を算出して提示するステップを実行する構成としてもよい。

【0018】

この構成では、加修に伴い車輻に部品を取り付ける際、その部品をリース品として取り付けるか否かを確認し、リース品としての取り付けを要求された時には、この部品のリースに要する費用を算出して顧客に提示する。よって、比較的安価な費用で、加修を提供できる。

【0019】

【発明の実施の形態】

続いて、本発明に係る車輻提供支援方法について、中古車販売業務にその車輻提供支援方法を組み入れた実施形態について説明する。

【0020】

まず、図1を参照して、本車輻提供支援方法を実現するための一システム構成を説明する。なお、図1中の細線は、システム上に展開された端末間でのデータの流れ（送受信）を示している。また、図1中の太線は、システム上でのデータ処理に伴う車輻の流れを示している。

【0021】

図1に示されるように本実施の形態に示すシステム構成は、中古車販売店（以下、販売店と称す）に設置された販売店端末1と、中古車の仕入れ・手配等を行う本部に設置された本部端末2と、加修を行うサービス工場に設置された工場端末3と、を備えている。また、各端末1, 2, 3は、汎用のネットワークN若しくは専用のネットワークを介して相互に接続されている。

【0022】

また、各端末1, 2, 3には、本システム専用のオペレーティングプログラムが導入されており、そのオペレーティングプログラムの実行に伴う各端末1, 2, 3間でのデータの送受信に基づき、中古車たる車輛が、本部、サービス工場、販売店間で流通し、顧客の要求に添った加修が施された後に顧客に提供される。すなわち、本実施の形態では、本部、サービス工場、販売店に設置された端末、及びその端末に導入されるオペレーティングプログラムによって、本発明特許請求の範囲に係る各種ステップが処理されている。

【0023】

まず、販売店に設置された販売店端末1は、主として、中古車購入者（以下、顧客と称することもある）の依頼をデータ化して本部端末2および工場端末3に送信するため機能を有し、これらの機能は、販売店端末1に導入されたオペレーティングプログラムの実行にて実現されている。なお、このオペレーティングプログラムについては、後に詳述する。

【0024】

また、本部に設置された本部端末2は、中古車市場に流通している中古車の車輛情報および中古車として仕入れた車輛情報を記録するためのサーバであり、販売店端末1間でのデータ交換（送受信）によって、本システム上にて流通する車輛の手配及び仕入れ等をデータ上で管理している。なお、本実施の形態では、車種、車輛の所在、車輛価格等を車輛情報として、本部端末2に記録している。

【0025】

また、上記車輛情報は逐次更新されており、その時々における最新の車輛情報を迅速且つ正確に検索できるようになっている。なお、車輛情報のデータ更新、また、販売店端末1とのデータの送受信は、この本部端末2に導入されたオペレ

ーティングプログラムの実行によって処理されている。

【0026】

一方、サービス工場に設置された工場端末3は、販売店にて受注した顧客の依頼に基づく作業項目を表示するための機能を有し、加修作業者は、この工場端末3に出力される作業項目に基づき加修作業を進めることになる。なお、出力すべき作業項目は、販売店端末1のハードディスクに記録されたデータベースから抽出され、工場端末3は、そのデータを販売店端末1から受信することでディスプレイ上に作業項目を表示する。また、作業項目の表示（出力）及び販売店端末1からデータ受信は、この工場端末3に導入されたオペレーティングプログラムの実行によって処理されている。

【0027】

続いて、上記したシステム上でのデータ処理について、車輛の流通過程を踏まえて説明する。なお、図2～図12は、販売店端末1に導入されるオペレーティングプログラムの実行によって、販売店端末1のディスプレイに表示される画像である。

【0028】

まず、オペレーティングプログラムの起動に伴い、販売店端末1のディスプレイ上には図2に示す初期画像20が表示される。

【0029】

この初期画像20には、中古車の購入者たる顧客の情報を入力するためのフォーマットが表示されている。より詳しくは、顧客の氏名を入力するための空欄21、顧客の住所を入力するための空欄22、顧客の性別を入力するための空欄23、顧客の年齢を入力するための空欄24、購入希望車種を入力するための空欄25、購入希望価格を入力するための空欄26、顧客の連絡先（例えば、電話番号）を入力するための空欄27、及び入力事項をオペレーティングプログラムの処理に反映させるための登録ダイアログ28、並びに入力事項を取消するための取消ダイアログ29、などが表示されている。なお、ここで例示した入力項目はあくまでも一例に過ぎず、所望に応じて種々の入力項目を追加することもできる。

【0030】

そして、顧客の来店時に、その顧客自ら若しくは販売店の店員がマウス及びキーボードといった入力端末を操作し、顧客の情報を入力する。そして、登録ダイアログ28をクリックすると、オペレーティングプログラムにて顧客情報が受け付けられ、オペレーティングプログラムでは、次なるグループ選択画像30をディスプレイに表示する（図3参照）。

【0031】

このグループ選択画像30には、購入希望車輦に施す加修の選択肢（以下、グループと称することもある）が表示されている。なお、本実施の形態では、「ヤング」「レディー」「ミドル」「ミセス」「ハイグレード」といった客層毎に加修項目がグループ分けされており、顧客は、各グループのダイアログ31～35に付された名称を参考にして加修項目を選択することとなる。なお、グループの指定方法としては、各グループに設けられたダイアログ31～35のクリックによって、その指定が可能になっている。

【0032】

続いて、オペレーティングプログラムでは、指定されたグループの詳細をディスプレイに表示する。なお、図4～図8は、各グループの詳細すなわちグループ毎に設定された具体的加修項目群を示す画像であり、例えば、「ヤング」に対応するグループが指定されたときには、若者向けの加修項目が割り当てられた確認画像40がディスプレイ上に表示される（図4参照）。

【0033】

また、以下同様にして「レディー」に対応するグループが指定されたときには女性向けの加修項目が割り当てられた確認画像50が表示され（図5参照）、「ミドル」が指定されたときには中高年男性向けの加修項目が割り当てられた確認画像60が表示される（図6参照）。また、「ミセス」が指定されたときには中高年女性向けの加修項目が割り当てられた確認画像70が表示され（図7参照）、「ハイグレード」が指定されたときには高級志向の加修項目が割り当てられた確認画像80が表示される（図8参照）。

【0034】

そして、これらの確認画像40～80上にて、購入希望対象車輦に対する加修

項目の変更及び確認を可能にしている。以下、図4に示す「ヤング」（グループ）に対応した確認画像40を参照して、オペレーティングプログラム上での加修項目の設定方法について説明する。なお、他の確認画像50～確認画像80に係る画面構成は、図4に示す確認画像40に準ずるため、確認画像40の説明にて、これら確認画像50～確認画像80の説明を簡略化する。

【0035】

まず、「ヤング」に相当するグループ選択時に表示される確認画像40には、加修に要する作業時間を表示するための領域41、加修に要する車種別費用を表示するための領域42、車輛に施される加修項目の一覧表示43、グループの志向を表示するための領域44、及び加修済み車輛を表示するための領域45が、確保されている。なお、上記他の確認画像50～80に於いてもその画像構成は同様である。

【0036】

また、各領域について詳述すれば以下の表示態様を具体的に例示できる。

まず、加修に要する作業時間を表示するための領域41には、割り当てられた加修に要する総作業時間が表示される。また、加修に要する車種別費用を表示するための領域42には、「中型、ワゴン」、「小型、普通車」、「大型、1BOX」といった区分で、その各々に応じた加修費用が表示される。

【0037】

また、グループの志向を表示するための領域44には、加修のポイントとなるコメントが表示される。また、加修済み車輛を表示するための領域45には、加修済み車輛のサンプル画像が表示される。なお、勿論、各領域の表示態様は、選択したグループによって異なるものである。また、加修項目の一覧を表示している領域43上のダイアログについては、後に詳述する。

【0038】

また、画面下方には、「戻る」「オプション」「取消し」「OK」といったダイアログが表示されている（図4中46～49）。ここで「戻る」のダイアログ46は現在の画面を前画面に戻すための操作領域となる。また、「取消し」のダイアログ48は、削除した加修項目及び追加した加修項目を初期の加修項目に戻

すための操作領域になる。なお、削除すべき加修項目の指定は、確認画像 40 上に表示される各加修項目のダイアログ 43D をクリックすることで指定可能である。また、加修項目を追加すべきときには、「オプション」のダイアログ 47 をクリックすることで加修項目の追加が可能になっている。また、「OK」のダイアログ 49 は、顧客の確認が得られた加修項目を販売店端末 1 に登録するための操作領域になる。

【0039】

また、本実施の形態では、加修項目の削除及び追加に伴い、画面上方の作業時間および加修に要する費用の表示領域 41, 42 の表示が、その都度、変更されるようにプログラムが構成されている。より詳しくは、販売店端末 1 のハードディスクに記録されたデータベースから、加修項目の追加及び削除毎に各加修項目に応じた作業時間及び費用が読み出され、さらに車種別に定められた係数が、その時々々の総作業時間及び総費用に乗算され、画面上に再表示している。

【0040】

そして、顧客若しくは店員の操作による加修項目の設定後、顧客がこの画像を参照して最終的な加修項目の確認を行う。そして、「OK」のダイアログ 49 をクリックすると、販売店端末 1 では、初期画像 20 にて入力された顧客情報、及び選択された加修項目を受け付け、送信日時と共に本部端末 2 に送信する。また、選択された加修項目に応じた作業項目をハードディスクから読み出し、その作業項目を工場端末 3 に送信する。

【0041】

続いて、本部端末 2 は、販売店端末 1 から受信したデータに基づき車輜情報を検索し、その検索にて当該顧客の購入希望車種を探し出す。また、本部では、サーバコンピュータ 2a にて探し出された車輜情報に基づき該当車輜を手配・確保し、サービス工場に配送する。

【0042】

一方、サービス工場では、工場端末 3 に表示された作業項目を参照し、本部からの車輜搬入に先立ち、加修に要する資材・部品等を手配する。また、車輜の搬入後には、その作業項目に従い搬入車輜に対して加修を施す。そして、サービス

販売店を経由して、その加修済み車輛を顧客に引き渡す。

【0043】

このように本システムでは、顧客に対して複数のグループを提示し、そのグループを単位として加修項目の選択を受け付ける。また、当該加修の有無を決定すべき判断基準となる情報（例えば、加修に要する作業時間、及び加修に要する車種別費用等）を顧客に提示し、その判断基準となる情報の提示を受けてなされた判断を受け付ける。そして、その判断に基づき、加修に要する作業項目を工場端末3に出力する。

【0044】

つまり、本実施の形態に示す車輛の提供支援方法では、加修項目の選択を受け付け、また、その加修作業の実施の有無を判断する上で有益な情報を顧客に提示し、加修作業の実施が受け付けられたときに、加修作業が実施される。したがって、車輛提供時には、顧客によって選択された加修項目がその車輛に施されるため、顧客のニーズに叶った車輛の提供が可能になる。また、車輛そのものの市場価値にとらわれることなく車輛の市場価値を高めることができ、結果として、市場価値の低い車輛であっても中古車市場に流通させることができる。よって、廃棄処分の抑制に伴う環境の改善の他、中古車市場の価格安定を図れる。また、上述の如く車輛の手配及び配送、並びに加修に要する資材・部品等の手配は、各端末間のデータ処理に従い迅速に処理されるため、顧客を必要以上に待たせることもない。

【0045】

また、本実施の形態では、予め複数の加修項目を客層毎にグループ分けしておき、加修項目の選択を受け付けるときには、そのグループを単位として加修項目を受け付ける。したがって、加修に係る知識に乏しい顧客であっても、グループの選択によって統一感のある加修項目の選択が可能になる。

【0046】

なお、ここで先の加修項目について、図9～図12に示す項目追加画像を参照して説明する。また、図9～図12は、上記「オプション」のダイアログ47操作時に表示される項目追加画像である。また、各グループに設定される加修項目

は、これら複数の加修項目の中から選択されている。また、この画像上には、各加修項目に応じたダイアログが表示されており、このダイアログのクリックによって、各グループ内での新規加修項目の追加が可能になっている。また、各加修項目には、詳細な作業項目が指定されており、加修項目の設定時には、その設定された加修項目に指定された作業項目が先の工場端末3に送信されることとなる。

【0047】

まず、本実施の形態では、加修項目として「整備」「外装」「内装」「その他」といった4つの加修区分が用意されており、その加修区分毎に詳細な加修項目が割り当てられている。そして、上記「オプション」のダイアログ47をクリックすると、初めに「整備」の加修区分に分類される項目追加画像90が表示される(図9参照)。

【0048】

この項目追加画像90には、図9に示されるように整備の加修区分に分類される計8個の加修項目が表示されている。まず、「12ヶ月点検整備」の表示が付されたダイアログの選択時には、12ヶ月法定整備が工場端末3に出力すべき作業項目と指定される。以下、同様にして「10W-50高性能オイル」のダイアログ選択時には、作業項目として販売店や本部指定の高性能オイルを用いたオイル交換が指定される。また、「5W-30超高性能オイル」ダイアログ選択時には、販売店や本部指定の超高性能オイルを用いたオイル交換が指定される。

【0049】

また、「エアロワイパー」のダイアログ選択時には、ワイパーの振れ止めとなるフィンの取り付けが指定される。また、「スーパーバッテリー」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定の高性能バッテリーの搭載が指定される。また、「スーパーブレーキパッド」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定の高性能ブレーキパッドの装着が指定される。

【0050】

また、「アースシステム」のダイアログ選択時には、車体の腐食を防ぐ腐食抑制装置の取り付けが指定される。また、「性能回復」のダイアログ選択時には、

エンジン内部の洗浄及び補機装置の交換といった機関の性能回復作業が指定される。

【0051】

また、この項目追加画像90には、上記加修項目の設定に係るダイアログの他、次なる加修区分への切り換えを指示するための操作領域たる「次へ」のダイアログ91、及び選択した加修項目をリセットするための操作領域となる「取消し」のダイアログ92、全画面に戻るための操作領域となる「戻る」のダイアログ93が表示され、これら各ダイアログ91、92、93の操作によって次なる処理が開始される。

【0052】

続いて、項目追加画像90内にて「次へ」のダイアログ91が操作されると、項目追加画像90上にて追加した加修項目の追加処理がなされ、次いで、項目追加画像100が表示される（図10参照）。

【0053】

この項目追加画像100には、図10に示されるように外装の加修区分に分類される計11個の加修項目が表示されている。まず、「エアロパーツ」のダイアログ選択時には、バンパースポイラーといったエアロパーツの仮装が指定される。また、「コーティング」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定のコーティング方法による車輻のつや出しコーティング作業が指定される。また、「撥水コート」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定の撥水コーティング方法による撥水コーティングが指定される。

【0054】

また、「ワンポイント」のダイアログ選択時には、タイヤに対するイラストの追加作業が指定される。また、「フォント」のダイアログ選択時には、タイヤに対する任意の文字の追加作業が指定される。また、「レター」のダイアログ選択時には、タイヤの刻印（例えば、メーカー名）に対する色づけ作業が指定される。

。

【0055】

また、「ガラスコーティング」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定の

コーティング方法に従った撥水コートの手指示がなされる。また、「ブラックコート」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定のコーティング方法によるタイヤへのつや出し作業が指定される。また、「リボン」のダイアログ選択時には、タイヤのサイドウォールに添ったペイント作業が指定される。

【0056】

また、「サイドストライプ」のダイアログ選択時には、車体の側面に対するライン状のデカールの貼り付け作業が指定される。また、「ワンポイント」のダイアログ選択時には、車体の局所に対するデカールの貼り付け作業が指定される。また、「ガラススリペア」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定のリペア方法によるガラスの補修作業が指定される。

【0057】

また、上記同様、この項目追加画像100には、上記加修項目の設定に係るダイアログの他、次なる加修区分への切り換えを指示するための操作領域となる「次へ」のダイアログ101、及び選択した加修項目の選択をリセットするための操作領域となる「取消し」のダイアログ102、全画面に戻るための操作領域となる「戻る」のダイアログ103が表示され、「次へ」のダイアログ101が操作されると、先にて選択された加修項目の追加処理がなされ、次いで、項目指定画像110が表示される（図11参照）。

【0058】

この項目指定画像110には、図11に示されるように内装の加修区分に分類される計5個の加修項目が表示されている。まず、「ルームクリーニング」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定のクリーニング方法による内装のクリーニング作業が指定される。

【0059】

また、「シート除菌・消臭」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定の除菌・消臭方法によるシートの除菌・消臭作業が指定される。また、「エアコン除菌・消臭」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定の除菌・消臭方法によるエアコンの除菌・消臭作業が指定される。また、「エクセレントシートカバー」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定のシートカバーの取付作業が指定さ

れる。また、「ウォータープリント」のダイアログ選択時には、販売店や本部指定の塗装又は転写方法によるパネル等への塗装及び転写作業が指定される。

【0060】

また、上記同様にして、この項目指定画像110には、加修項目の設定に係るダイアログの他、次なる加修区分への切り換えを指示するための操作領域となる「次へ」のダイアログ111、及び選択した加修項目の選択をリセットするための操作領域となる「取消し」のダイアログ112、全画面に戻るためのための操作領域となる「戻る」のダイアログ113が表示され、「次へ」のダイアログ111が操作されると、先にて選択された加修項目の追加処理がなされ、次いで、項目指定画像120が表示される（図12参照）。

【0061】

この項目指定画像120には、図12に示されるようにその他の加修区分に分類される計3個のサービス項目が表示されている。まず、「ロードサービス」のダイアログの選択時には、本部提携のロードサービス会社によるロードサービスが車輦に付加される。また、「Auto Loan」のダイアログ選択時には、本部提携の金融機関の融資を受けて車輦の購入が可能になる。また、「保障制度」のダイアログ選択時には、一定期間（例えば、車輦購入時から2年間）の保障が受けられる。

【0062】

また、この項目指定画像120には、選択した加修項目の選択をリセットするための操作領域となる「取消し」のダイアログ122、全画面に戻るためのための操作領域となる「戻る」のダイアログ123の他、画像90～項目指定画像120迄の操作を反映させるため操作領域となる「OK」のダイアログ121が表示され、このダイアログ121が操作されると、グループの確認画面（例えば、図4）に戻る。

【0063】

このように本実施の形態では、販売店や本部指定の作業項目に応じて加修作業を実施するため高品質の加修を提供できる。また、加修時に要する資材・部品等の手配も用意である。また、本実施の形態では、複数の加修項目を準備し、さら

にその一つ一つの追加及び削除も可能であるため、幅広く顧客の要望に対応できる。

【0064】

なお、上記に説明した車輛提供支援方法のシステム構成は、あくまでも好適な一実施形態であり、その詳細は、所望に応じて変更可能である。

例えば、上記にて保障サービスが付加されて加修済み車輛が顧客に提供された場合、販売店端末1では、当該車輛の提供日を読み込み、その車輛提供日から所定期間経過後の期日を保障期間満了日として算出して先の確認画像40～80等に表示するようにしてもよい。この場合には、保障期間満了日が顧客に対して表示されるため、顧客に対して安心感を与えることができる。

【0065】

また、過去の選択を、その選択を行った顧客情報に対応づけてデータベースに蓄積しておき、新規顧客に加修項目を提示する際には、その新規顧客の情報とデータベースの蓄積情報とを照らし合わせ、新規顧客の必要とすべき加修項目を推定し、この推定した加修項目を新規顧客に提示するようにしてもよい。この場合には、ある程度、新規顧客の要望に近いグループの提示が可能になる。

【0066】

また、上記した加修項目も一例であって、例えば、ホイールの換装、ステアリングの換装、シートの換装、緩衝装置（スプリング、ショックアブソーバ等）の換装、排気管（マフラー）の換装、音響装置の換装といった項目の追加も可能である。

【0067】

なお、これら換装に要する部品等は、販売店や本部指定の部品の他、アフターマーケットから取り寄せるようにしてもよい。また、部品の装着においては、加修費用にそれら部品の価格を含める場合や、本部や販売店がこれら部品とリース品として貸し付けるようにしてもよい。この場合には、上記オペレーティングプログラムにおいて、リース品としての取り付け、及び買取部品としての取り付けを選択可能とし、リース品としての部品の取り付けが受け付けられたときには、販売店端末1等にて、その部品のリース期間及びリースに要する費用を算出して

顧客に提示する等のプログラムを追加する。

【0068】

また、上記では加修の有無を決定すべき判定基準となる情報として、加修に要する作業時間、及び加修に要する車種別費用等を例示したが、これらはあくまでも一例であり、所望に応じて変更可能である。なお、好ましくは、作業時間、及び費用の何れかが含まれる形で情報を表示すると良い。

【0069】

また、上記では、中古車販売業務に本発明に係る車輛提供支援方法を適用したが、本車輛提供支援方法は、中古車販売店のみならずカーディーラーや整備工場等への適用も可能である。

【0070】

また、上記では加修対象車輛として中古車を例示したが、加修対象車輛は、中古者のみならず顧客所有の車輛であってもよい。この場合には、加修項目を指定し、顧客又は販売店の担当者がサービス工場に顧客所有の車輛を持ち込み、サービス工場の加修作業者によって上記種々の加修を施す。したがって、この場合には、加修によって新たな付加価値がつくため車輛保有期間を延長させることができ、中古車供給量の抑制に伴う中古車市場を価格安定を図れる。

【0071】

【発明の効果】

以上のように本車輛提供支援方法によれば、市場価値の低い車輛に対しても顧客のニーズに叶った十分な付加価値を付けることができ、また、車輛保有期間の延長も可能である。したがって、中古車市場における中古車の過剰供給が回避され、環境の改善および中古車市場の安定を図れる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係る車輛提供支援方法の一システム構成図。

【図2】

本実施の形態に係るオペレーティングプログラムの起動によって表示される初期画像の概略構成図。

【図 3】

図 2 に示す初期画像に次いで表示されるグループ選択画像の概略構成図。

【図 4】

図 3 における「ヤング」のダイアログの操作を受けて表示される確認画像の概略構成図。

【図 5】

図 3 における「レディー」のダイアログの操作を受けて表示される確認画像の概略構成図。

【図 6】

図 3 における「ミセス」のダイアログの操作を受けて表示される確認画像の概略構成図。

【図 7】

図 3 における「ミドル」のダイアログの操作を受けて表示される確認画像の概略構成図。

【図 8】

図 3 における「ハイグレード」のダイアログの操作を受けて表示される確認画像の概略構成図。

【図 9】

図 3 における「オプション」のダイアログの操作を受けて表示される整備に係る加修区分の項目追加画像を示す概略構成図。

【図 10】

図 9 に示す項目追加画像に次いで表示される外装に係る加修区分の項目追加画像を示す概略構成図。

【図 11】

図 10 に示す項目追加画像に次いで表示される内装に係る加修区分の項目追加画像を示す概略構成図。

【図 12】

図 11 に示す項目追加画像に次いで表示されるその他の加修区分の項目追加画像を示す概略構成図。

【符号の説明】

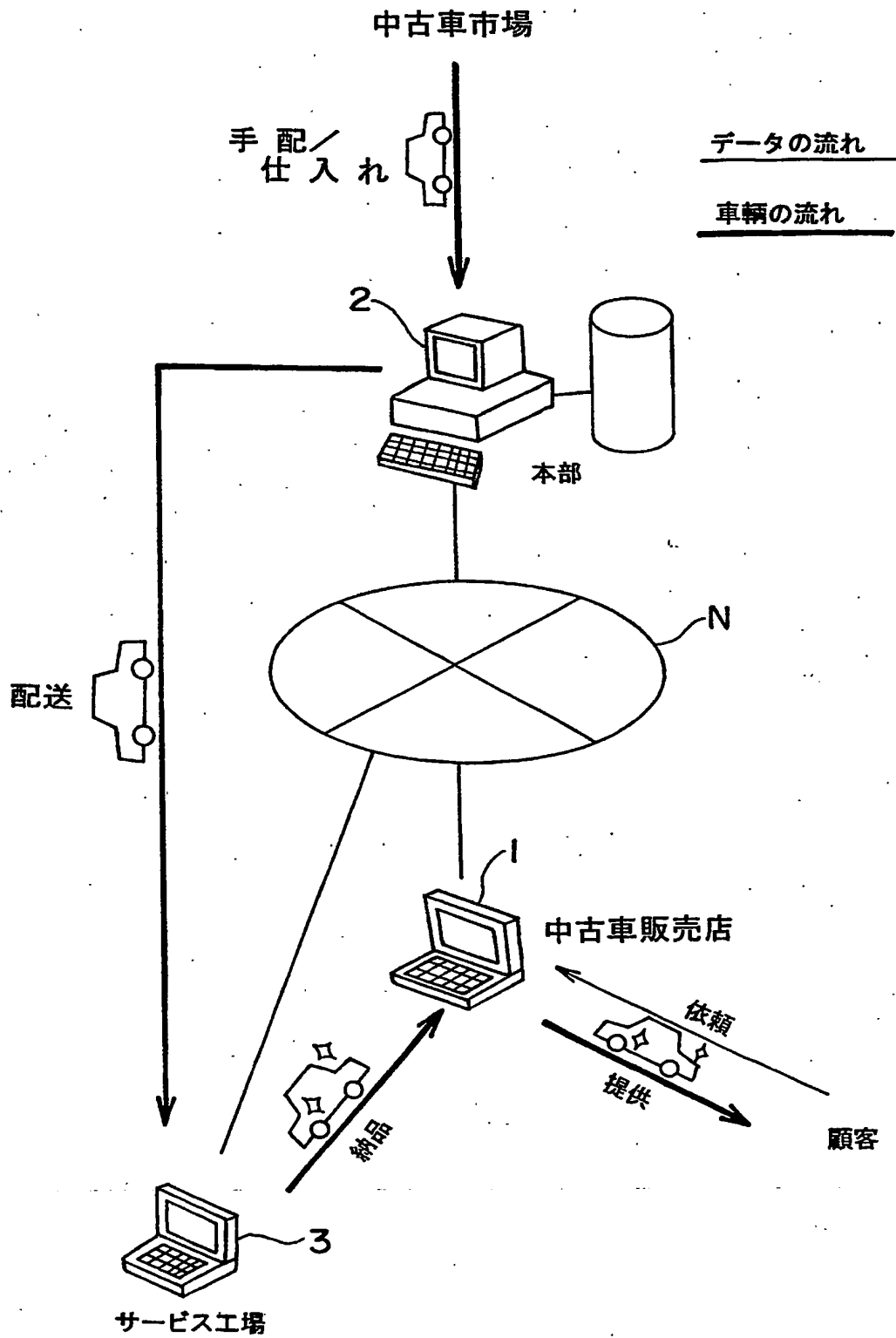
- 1 販売店端末
- 2 本部端末
- 3 工場端末
- 20 初期画像
- 21 氏名入力用の空欄
- 22 住所入力用の空欄
- 23 性別入力用の空欄
- 24 年齢入力用の空欄
- 25 購入希望車種入力用の空欄
- 26 購入希望価格入力用の空欄
- 27 連絡先入力用の空欄
- 28 登録ダイアログ
- 29 取消ダイアログ
- 30 グループ選択画像
- 31 「ヤング」選択用のダイアログ
- 32 「レディー」選択用のダイアログ
- 33 「ミセス」選択用のダイアログ
- 34 「ミドル」選択用のダイアログ
- 35 「ハイグレード」選択用のダイアログ
- 40 「ヤング」選択時の確認画像
- 41 作業時間の表示領域
- 42 費用の表示領域
- 43 車輦に施される加修項目の一覧
- 43D ダイアログ
- 44 グループの志向の表示領域
- 45 加修済み車輦の表示領域
- 46, 56, 66, 76, 86 「戻る」選択用のダイアログ
- 47, 57, 67, 77, 87 「オプション」選択用のダイアログ

- 48, 58, 68, 78, 88 「取消し」選択用のダイアログ
- 49, 59, 69, 79, 89 「OK」選択用のダイアログ
- 50 「レディー」選択時の確認画像
- 60 「ミセス」選択時の確認画像
- 70 「ミドル」選択時の確認画像
- 80 「ハイグレード」選択時の確認画像
- 90 整備の加修区分に係る項目追加画像
- 91, 101, 111 「次へ」選択用のダイアログ
- 92, 102, 112, 122 「取消し」選択用のダイアログ
- 93, 103, 113, 123 「戻る」選択用のダイアログ
- 100 外装の加修区分に係る項目追加画像
- 110 内装の加修区分に係る項目追加画像
- 120 その他の加修区分に係る項目追加画像
- 121 「OK」選択用のダイアログ
- N ネットワーク

【書類名】

図面

【図1】



【図 2】

氏 名 21

住 所 22

性 別 23 年 齢 24

購入希望車種 25

購入希望価格 26

連絡先 27

登 録 28

取 消 し 29

20

【図 3】

<div> <div> <div>×</div> <div>□</div> <div>□</div> </div> <div> <div>ヤング</div> <div>レディー</div> <div>ミセス</div> <div>ミドル</div> <div>ハイグレード</div> </div> <div> <div>／</div> <div>／</div> <div>／</div> <div>／</div> <div>／</div> </div> <div> <div>～31</div> <div>～32</div> <div>～33</div> <div>～34</div> <div>～35</div> </div> </div>
--

30

【図 6】

☐☐☐☐

ミセス

■ 作業時間〇時間

■ 小型、普通車〇〇〇〇〇〇〇円

■ 中型、ワゴン〇〇〇〇〇〇〇円

■ 大型、180X〇〇〇〇〇〇〇円

12ヶ月保証期間

12ヶ月

同機オイル

エーティンク

ブラケット

ワボ イト

ワボ イト

ワボ イト

ルームクリーニング

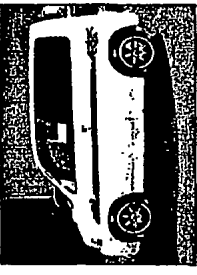
シート縫製・張り替え

シート縫製・張り替え

ワボ イト

ワボ イト

ワボ イト



車内を快適空間に！

車内はアトピー等の原因とされるダニ・カビ・雑菌の絶好のすみか。徹底的に車内クリーニングと除菌・消臭を行い、アレルギー体質の方も安心してドライブできます！

戻る


オプション

取消し

OK

出証特 2003-3054677

【図 7】



モデル


■ 作業時間 〇時間

■ 小型、普通車 〇〇〇〇〇〇〇円


■ 中型、ワゴン 〇〇〇〇〇〇〇円

■ 大型、180X 〇〇〇〇〇〇〇円


12ヶ月保証書




高圧洗浄




エアコン




エアコン・洗車




エアコン・洗車




エアコン・洗車




12ヶ月保証書




高圧洗浄




エアコン




エアコン・洗車



エアコン・洗車



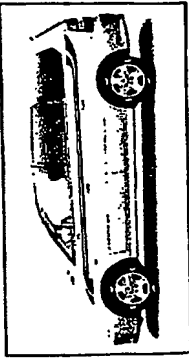
エアコン・洗車



70

**カスタム・ハイグレード
指向のあなたに!**

ボディとタイヤにワンポイントを
付けてトータルコーディネート!



戻る

76

オプション

77

取消し

78

OK

79

出証特 2003-3054677

【図 8】

☐ ☐ ☐ ☐

ハイグレード

80

■作業時間○時間

■小型、普通車○○○○○○○円

■中型、ワゴン○○○○○○○円

■大型、180X○○○○○○○円

12ヶ月自費修理	12ヶ月	エンジン・油	シート・油	エアコン・油	ブレーキ・油	タイヤ・油	ボディ・油	ヘッドライト	ドア・油	エンジン・油	ブレーキ・油	タイヤ・油	ボディ・油	ヘッドライト	ドア・油

ハイグレードな
車内空間を演出！

木目調パネルで最高級の車内空間を
演出します！

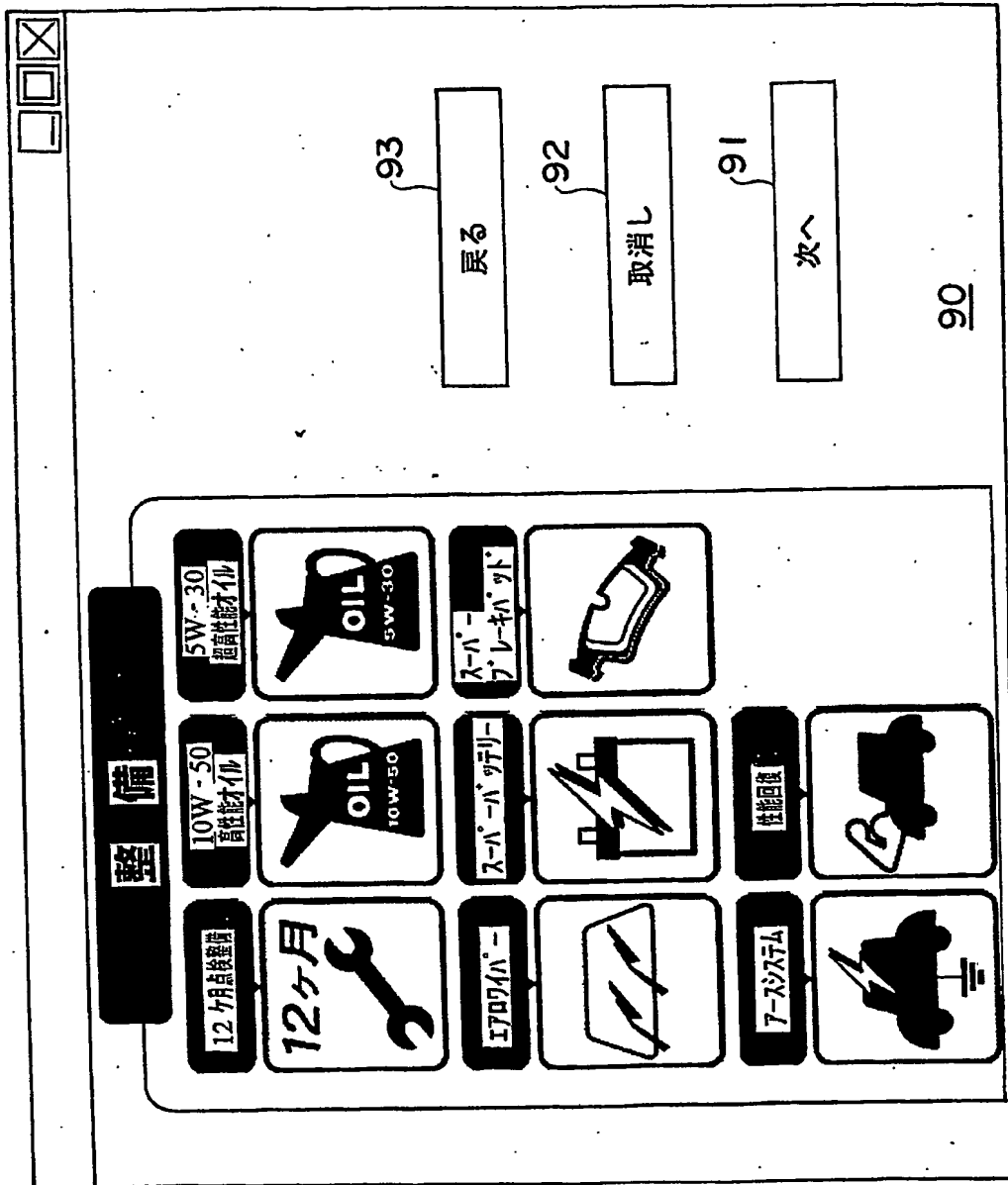
戻る

オプション

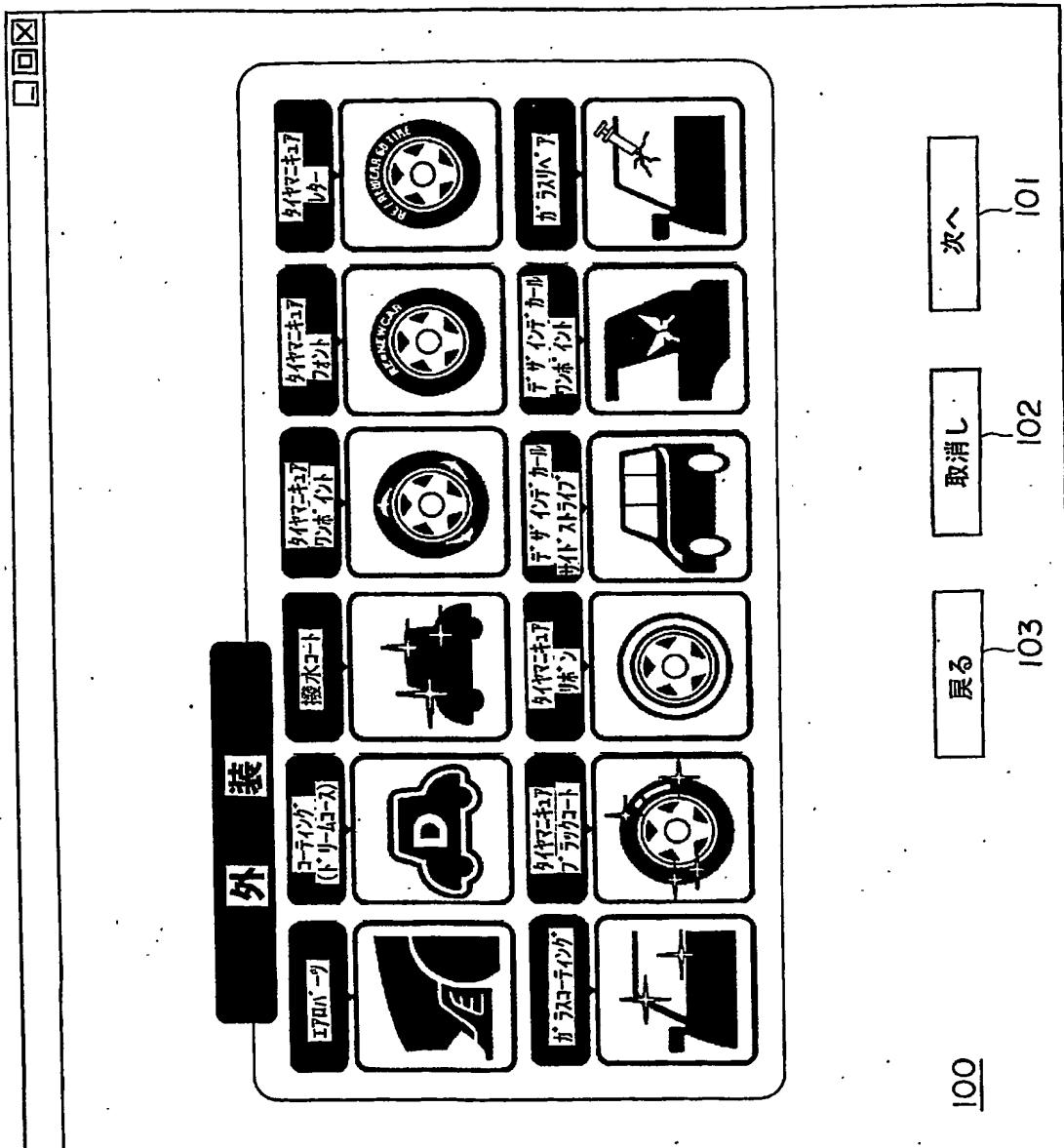
取消し

OK

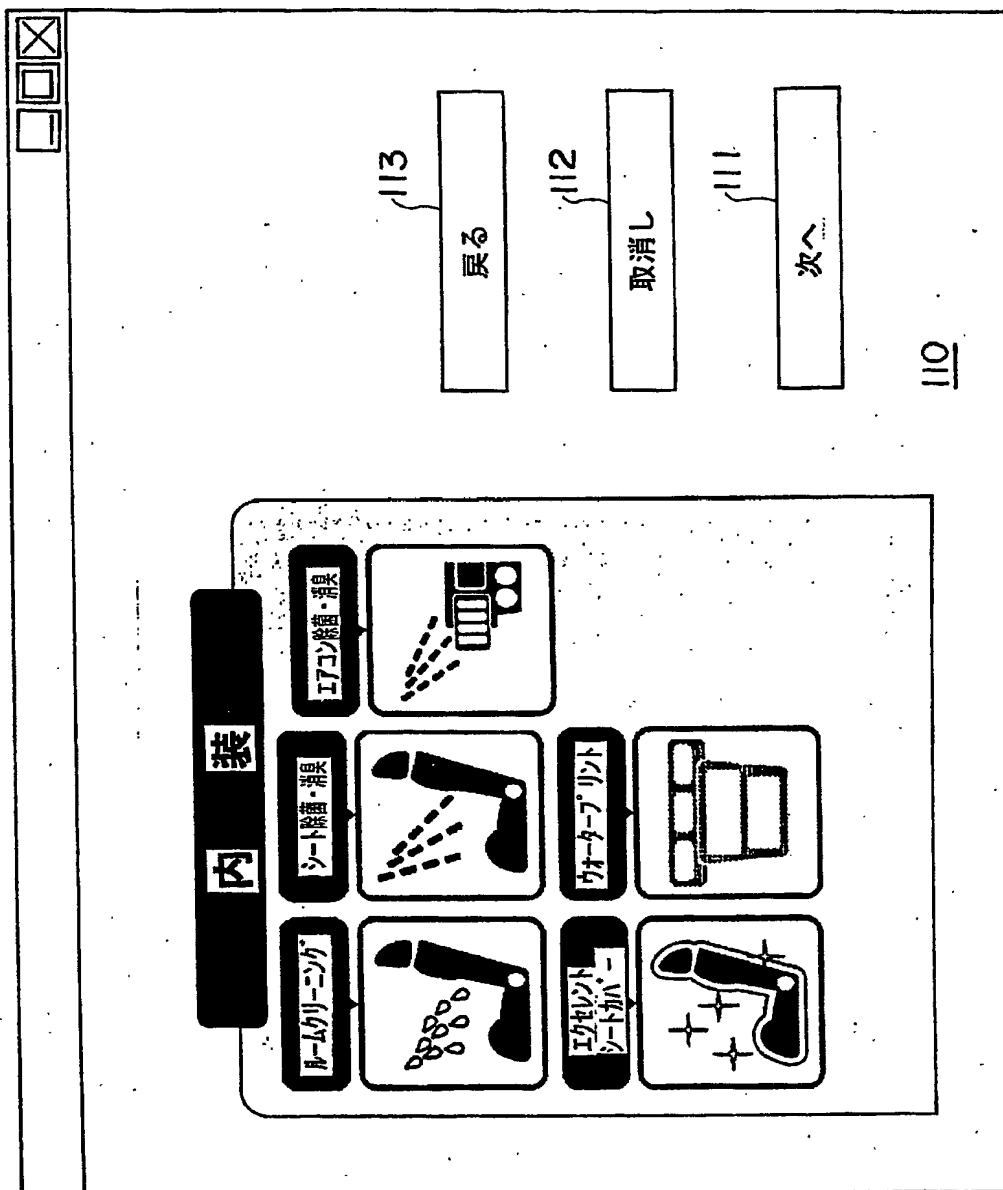
【図9】



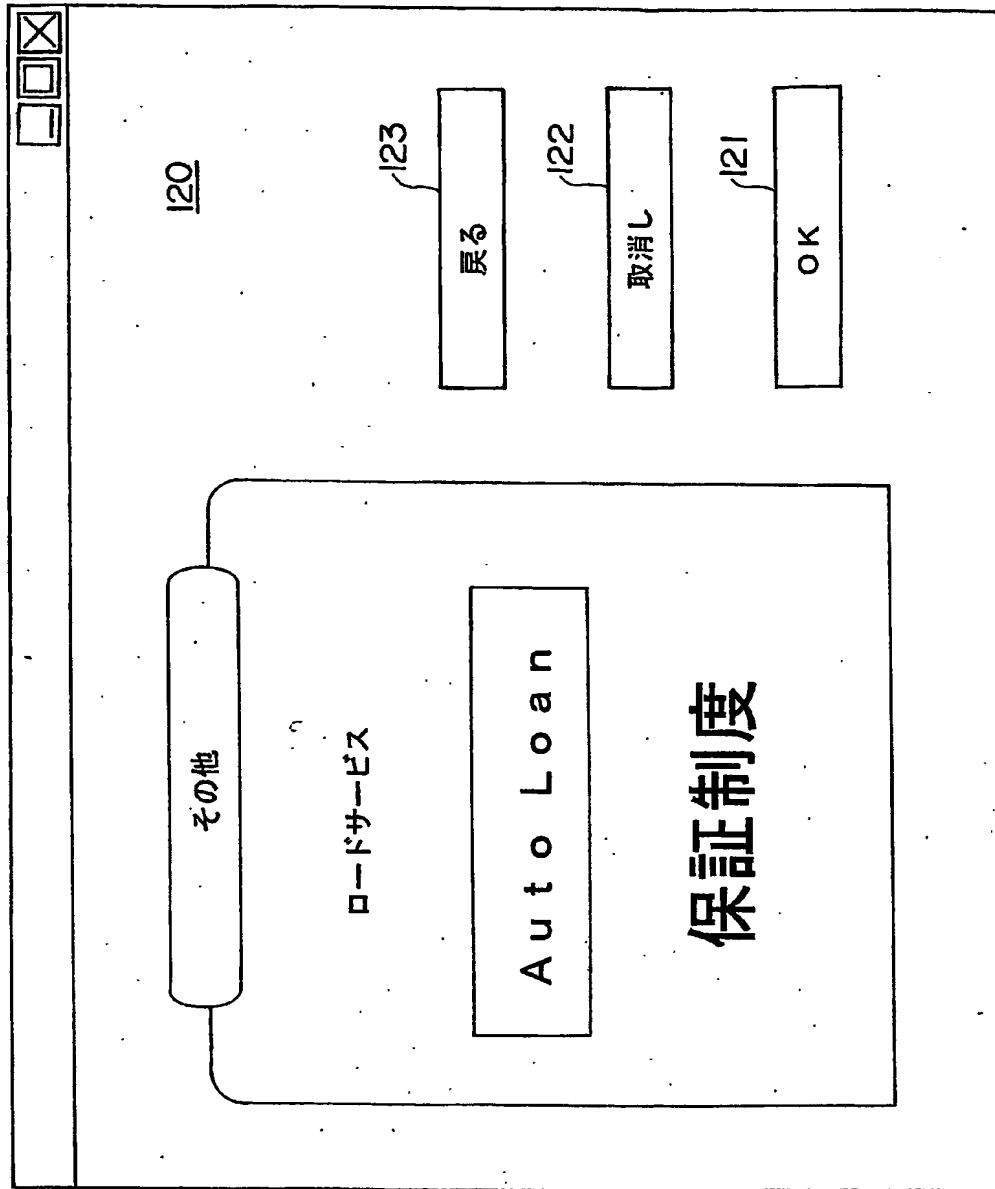
【図 10】



【図 11】



【図 12】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 環境の改善、及び中古車市場の安定を図れる車輛提供支援方法を提供する。

【解決手段】 複数の加修項目を顧客に提示するステップと、車輛に施すべき加修項目の選択を受け付けるステップと、受け付けた加修項目に基づき、その加修に要する作業項目を工場端末3に出力するステップと、作業項目の出力に先立ち、前記加修の有無を決定すべき判断基準となる情報（例えば、加修に要する作業時間、及び加修に要する車種別費用等）を提示するステップと、判断基準となる情報の提示を受けてなされた判断を受け付けるステップと、前記で受け付けられた判断に基づき、加修に要する作業項目の出力の有無を決定するステップと、を販売店端末1に実行させる。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2002-167674
受付番号	50200833577
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成14年 6月10日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	598152563
【住所又は居所】	宮城県仙台市宮城野区栄1丁目8番3号
【氏名又は名称】	上垣 健男

【代理人】

申請人	
【識別番号】	100089244
【住所又は居所】	東京都中央区東日本橋3丁目4番10号 ヨコヤマビル6階 秀和特許事務所
【氏名又は名称】	遠山 勉

【選任した代理人】

【識別番号】	100090516
【住所又は居所】	東京都中央区東日本橋3丁目4番10号 ヨコヤマビル6階 秀和特許事務所
【氏名又は名称】	松倉 秀実

【選任した代理人】

【識別番号】	100098268
【住所又は居所】	東京都中央区東日本橋3丁目4番10号 ヨコヤマビル6階 秀和特許事務所
【氏名又は名称】	永田 豊

【選任した代理人】

【識別番号】	100100549
【住所又は居所】	東京都中央区東日本橋3丁目4番10号 ヨコヤマビル6階 秀和特許事務所
【氏名又は名称】	川口 嘉之

次頁無

特願 2002-167674

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[500529562]

1. 変更年月日 2001年 6月 7日
 [変更理由] 識別番号の二重登録による抹消
 [統合先識別番号] 598152563
 住 所 宮城県仙台市宮城野区栄1丁目8番3号
 氏 名 上垣 健男

特願 2002-167674

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[598152563]

1. 変更年月日 2001年 6月 7日
 [変更理由] 識別番号の二重登録による統合
 [統合元識別番号] 500529562
 住 所 宮城県仙台市宮城野区栄1丁目8番3号
 氏 名 上垣 健男

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.